上矢作小学校だより

大船山

第　7　号
令和 3 年 6 月 28 日

ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞｱﾄﾞﾚｽ　http://www.ena-gif.ed.jp/kamiyahagi-e/

「やりたいこと」と「やらなければならないこと」

校　長　　細江　幸次

すっきりと晴れることが少なかった 6 月もあと数日。4 月から取組を進めてきた「静けさづくり」が随分浸透してきたと実感しています。毎日の集団下校時も早く集まり、静かに待つ姿に1学期の成果を感じます。

夏休みまで 3 週間ほどとなりました。来週に入ると夏休みの計画づくり・準備が本格化してきます。おそらく、全員が楽しみにしている夏休みです。私は担任をしている頃から、ずっと夏休みの研究・作品づくりに重点を置いて指導してきました。子どもたちに自分の好きなこと・得意なこと(くれぐれもこれの意味を取り違えないことが重要)に思いきり時間を割いて、夏休みを過ごしてほしいという願いが強くあったからです。毎年2学期の始業日には多くの力作が続々と集まってきます。中には自分一人で運ぶことができず、お家の方に助けていただいて運んできた大作も少なくありません。そんな力作を持ってくる子はいずれも誇らしげな表情をしています。そして、その力作たちは校外のコンクール、コンテスト等の出品作品となることもよくありました。時には自分の住む市町や岐阜県を飛び出して、全国規模のコンクール・コンテストに出品・入賞する作品に出会ったこともあります。自分の研究・作品が住んでいるところから遠く離れたところに運ばれ、知らない多くの人たちに見ていただき、表彰式等で自分の作品と再会できる喜びを本校の多くの子どもたちにも味わってほしいと願っています。

図書館まつり

歯みがきポスターづくり

そういうことを何年間か続けていると、そんな取組をした子たちにはある共通点があることに気づきます。それは、その子たちがいずれも「2学期のスタートをとても良い形で切れる」ということです。作品の評価の結果はずっと後になるので、入賞等のよい結果はこの理由にはなりません。このことを私なりに次のように分析しています。

自分の好きなこと・得意なことに目一杯時間をかけるといっても、それだけをやっていればいいわけではありません。学校からの課題はあるし、読書感想文も書かなければならない。お手伝いもして、プールにも行って‥‥、他にもやらなければならないことはたくさんあるのです。自分のやりたいことばかりやっていると、そのうちに「自分のことばかりやっていないで‥‥」とお小言のひとつももらう羽目にもなりかねません。そうならないために、早寝早起きをして、時間を効率的に使って、健康にも十分留意して、やるべきことをまず先に済ませてから、後でじっくりと自分のやりたいことをやるようになるのではないかと考えています。そして、そういうことを繰り返しできるように自分自身で生活のリズムを作っていくようにもなる、つまり自分の好きなこと・得意なことを生活の中心に置きながら規則正しいリズムができ上り、2学期のスタートダッシュにつながるのだと思います。また、周りから「そればかりやっていれば、そりゃ‥‥」と言われるよりは、どれもきちんとやった上で「すごい！！」と言われることの気分のよさも体得しているのでしょう。

「やりたいこと」と「やらなければならないこと」のバランスのとり方は子どもたちの生活においてとても大切です。そして、何より「やりたいこと」は「やらなければならないこと」の向こう側にあるのです。